

I. 平成28年度事業運営の特徴と課題

1-1 各保険事業の状況（清雅苑本体）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
特養 (稼働率)	28年	95.9	93.1	96.5	96.5	96.7	97.2	95.9	93.9	95.0	95.3	99.2	96.5	95.9
	27年	95.4	96.3	97.5	94.1	89.8	91.3	94.7	94.7	93.0	95.4	95.4	96.1	94.5
短期入所 (稼働率)	28年	117.2	146.8	117.8	102.7	115.6	110.0	118.8	142.8	115.1	121.0	85.7	79.6	114.4
	27年	123.3	90.9	87.8	96.2	125.3	120.6	133.3	129.4	136.0	107.0	129.9	131.2	117.6
施設計 (稼働率)	28年	97.4	96.8	97.9	97.0	98.0	98.0	97.5	97.2	96.4	97.1	98.3	95.4	97.2
	27年	97.3	95.9	96.9	94.2	92.2	93.3	97.4	97.0	95.9	96.2	97.8	98.5	96.1
通所一般 (稼働率)	28年	73.1	73.7	70.1	70.2	74.4	72.6	72.4	70.3	68.8	67.0	69.2	69.7	70.9
	27年	74.0	72.7	76.4	80.1	74.4	73.6	75.2	79.4	74.2	66.5	56.4	70.9	72.8
通所認知 (稼働率)	28年	50.0	50.0	52.2	53.2	51.2	51.6	51.6	52.9	51.3	44.1	39.9	35.8	48.6
	27年	56.1	57.7	63.1	65.1	66.0	66.0	64.8	63.3	56.7	58.7	45.7	50.3	59.5
営業日数	28年	26	26	26	26	27	26	26	26	26	24	24	27	310
	27年	26	26	26	27	26	26	27	25	26	24	25	27	311
介護予防 プラン	28年	206	198	208	219	208	208	209	212	206	204	210	210	208.2
	27年	72	146	173	183	185	187	188	198	201	205	200	206	178.7
(直営)	28年	28	29	37	39	42	44	51	50	48	53	57	60	44.8
	27年	19	27	31	30	32	31	27	26	27	26	26	24	27.2
(委託)	28年	178	169	171	180	166	164	158	162	157	151	153	150	163.3
	27年	53	119	142	153	153	156	161	172	174	179	174	182	151.5
居宅介護 支援	28年	80	78	76	76	79	80	78	79	81	76	80	76	78.3
	27年	66	67	70	72	72	73	76	72	73	73	72	74	71.7
介護予防 プラン	28年	14	13	14	14	12	13	12	11	13	12	12	13	12.8
	27年	9	9	9	9	10	11	11	13	14	15	15	15	11.7

1-2 各保険事業の状況（みやびやか旭） 平成23年5月開設

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
居宅介護 支援	28年	66	68	75	74	75	74	71	71	70	66	58	57	68.8
	27年	86	83	82	86	79	78	76	76	73	70	68	72	77.4
介護予防 プラン	28年	4	4	5	5	6	5	5	5	4	3	5	5	4.7
	27年	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
訪問介護 (時間)	28年	1494.5	1467.8	1529.5	1494.3	1545.3	1486.8	1571	1603.5	1614.5	1458	1423.8	1560.8	1520.8
	27年	1351.3	1441.5	1529	1525	1425.5	1517.5	1587	1478.3	1541.3	1329	1489	1584.3	1483.0
営業日数	28年	26	26	26	26	27	26	26	26	26	24	24	27	25.8
	27年	26	26	26	27	26	26	27	25	26	24	25	27	25.9

※1 居宅介護支援・介護予防プランの数値は、ケアプラン作成件数を表示

2-1 介護老人福祉施設の利用状況

平成28年度も、感染症を流行させないように予防策を講じましたが、11月にインフルエンザの発症があり、11、12月は稼働率が低下いたしました。空床ベッドが発生すると待機者の方がすぐに入所できるように調整いたしますが、待機している間に他の特養や老健への入所が決まったり、医療機関への入院が必要となり、辞退される方もおり、空床ベッドにすぐに入所して頂くことが出来ませんでした。

今後も空所ベッドが発生した際、待機者の方がすぐに入所できるように上位待機者の状況をしっかりと把握していくことが大切なことと考えます。

28年度は、入所：21件、退所：24件、内13件は施設内での看取り介護を行いました。入退所件数は昨年と

ほぼ変わりませんでしたが、年間平均稼働 95.9%と 1.4%高くなりました。退所から入所までを早くできた事が要因と考えられます。

28年度の、平均要介護度は27年度と比較すると0.03高くなっています。要介護度の定期的な見直しを行い、区分変更申請等を適切に行ってきた事が考えられます。

## 2-2 短期入所生活介護の利用状況

昨年度に比べ、平均稼働率は3.2%下降しました。特養の稼働率が比較的安定したことが要因と考えられます。年明け頃よりショートステイのリピーターの方の減少により、ショートステイベッドの定員割れもみられました。利用される実人数が増えるように、事業所への挨拶まわり、定期的な営業活動を行っていきました。緊急での利用依頼も多くあり、その都度受け入れの対応をしています。主介護者の体調不良や虐待案件での緊急利用が多く、地域包括支援センターや居宅介護支援事業所のケアマネージャーの方と連携を取り、柔軟な受入を行っています。

## 2-3 通所介護の利用状況

平成28年度は特に冬場から長くご利用いただいた方の永眠等で皆様をお送りする機会が多くありました。稼働においても影響がありました。しかし、目標に掲げた重度のケアが必要な方、終末期の方への対応については沢山の勉強をさせていただき、職員一人一人が向き合い、ご家族やケアマネージャーと連携の下、精一杯受け入れ、対応できたと思います。認知症対応型通所介護ご利用の方はお泊りの出来る小規模のデイサービスを選択されるケースも増えてきました。こちらでもまた稼働に影響いたしました。

28年度の大きな変化としては認知症対応型通所介護（青空）の休止があります。今後のことを勘案し28年度を以て休止せざるを得ない状況となり、家族会などを通し皆様にご説明し、29年度からは一般デイとして受入をさせていただくこととなりました。今後も引き続き青空スペースを残し、形を変えてより良いサービスを提供させていただきたいと思っています。

様々な変化があり、そのためチームで話し合う機会を多く持つことが出来ました。

稼働、より良いスペース作り、人員変化の中でのチームワークの維持など、28年度からの課題に29年度も引き続き取り組んでまいります。

## 2-3 きよせ清雅地域包括支援センターの活動状況

社会福祉士1名(兼務)、主任介護支援専門員2名、看護師1名、介護支援専門員1名の計5名体制で業務を遂行しています。平成27年創設年の清瀬市役所地域包括支援センターから引き継ぎ業務量から免除されていた、一般市民向け講座なども平成28年度はこなしながら、介護予防支援計画数の委託率を平成28年3月の84.6%から平成29年4月は71.4%と引き下げ、総合事業開始と共に都外の委託事業所の契約件数も下げ、直営の介護予防支援計画費を増額できるように図り、相談業務の件数と合わせてご利用件数をあげて参りました。

清瀬市地域包括支援センターの運営事業・計画にのっとり、地域包括支援センターが公正・中立の立場を確保し、業務を円滑かつ適正に進めていくとともに、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、住民自ら積極的に社会参加・社会的役割を持つこと・健康推進・行きがい・交流を深める場に継続的に参加できる通いの場を提供し、総合事業の本格実施をめざし利用につなげました。清瀬市の高齢者の複雑・多様化した課題を各委員会に参加し検討・協議して課題や問題の整理を行い、ご利用者に役立つ包括支援センターの構築を図りました。

他、清瀬市高齢者元気回復事業の委託を受け、活動の場が減少しがちな高齢者に対し、社会参加や活動の場を提供することをひとつのきつげとし、閉じこもりの予防、運動機能低下予防、認知機能の低下予防を目標とする教室「せいが中里元気塾」を毎週木曜日に実施し、利用者も定着して参りました。

#### 2-4 居宅介護支援事業(在宅介護支援センター清雅)の利用状況

常勤ケアマネ 2 名、非常勤ケアマネ 1 名の配置となり、居宅介護支援事業所としての業務を行うことに集中しました。職員のケアマネ業務の習熟につれ、対応件数も増加していきましたが、新規の受入よりも終了される方が多く、数的には大きく増加していません。居宅介護支援については 2 事業所を運営していましたが、より効率的な運営ができるよう、29 年度よりみやびやか旭に統合することになりました。

#### 2-5 居宅介護支援事業（みやびやか旭）の利用状況

勤務体制常勤 1 名兼務、非常勤 1 名、週 2 日勤務非常勤職員 1 名体制で年間プラン作成数 825 件、月平均約 68.8 件で推移しました。予防プランは常勤職員のみが担当し、要介護に移行等がある中で月 5 件程度のプラン作成数となっています。年度後半は職員の退職や事業所統廃合の準備等により件数が減少し、年度当初のサービス提供目標のプラン作成件数は達成できませんでした。

地域に根ざした事業運営という面では、窓口開設時間を増やした影響もあり、相談件数が前年度比の概ね 3 倍となったこと、旭が丘団地自治会の介護予防教室への協力など、有意義な取り組みを進めることが出来ました。

平成 29 年度からは清瀬市在宅介護支援センター清雅を統合し、5 名体制での事業運営となります。人員体制の充実により、多角的な視点から利用者支援にあたっていきたいと考えています。

#### 2-6 訪問介護事業（みやびやか旭）の利用状況

平成 28 年度は、派遣時間数の目標は、月間平均 1,500 時間と設定し、実績としては月間平均約 1,520.8 時間でした。年度内に 1,650 時間を達成することはできませんでしたが、1600 時間を越えた月は 2 ヶ月ありました。

新規の依頼もあれば終了になるケースもあり変動があります。また、在宅で最後を過ごされる方の依頼もあり柔軟な対応を求められるケースもございました。

4 月からの総合事業への移行に伴い他事業者から利用者の受け入れを行いました。事業所が変わっても安心して生活していただけるようなスムーズな引継ぎ体制を整えました。

今後も訪問介護事業へのニーズは高いと考えております。そのニーズに応えるためにも登録ヘルパーの確保・人材の育成に力を入れてまいります。